

県議会 おおいた

No.108

大分県議会

平成29年11月発行

題字は、大分県立中津北高等学校
3年 佐藤 結香さんの作品です。



台風第18号災害に関する議長メッセージ

9月の台風18号に伴う災害により、犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方々にご心よりお見舞い申し上げます。また、被災直後から救助活動に当たってこられた皆様、被災地の一日も早い復旧・復興に向けてご尽力をいただいております皆様に深甚なる敬意を表します。県議会では、発災後直ちに災害対策連絡協議会を立ちあげ、被災状況の迅速な把握と情報共有に努めるとともに、災害からの迅速な復旧・復興に向けて国の関係機関や九州旅客鉄道株式会社に要請活動を行いました。被災された皆様の一日も早い生活再建と被災地の復旧・復興に向けて県執行部とともに全力で取り組んでまいります。

大分県議会議長 井上 伸史

～出前県議会～

平成29年10月17日、日田市に11名の議員が出向き出前県議会を開催しました。

- | | |
|----|-------------------------------|
| 目次 | ▶平成29年第3回定例会 …………… 1 |
| | ▶新たに構成された委員会・委員会の活動状況 …………… 4 |
| | ▶トピックス・県議会今後の動き …… 6 |

平成29年 第3回定例会

9月8日から27日までの会期20日間で開催されました。

開会后、井上議長による諸般の報告に続き、九州北部豪雨災害からの本格的な復旧・復興に要する経費や「安

心・活力・発展プラン2015」の施策推進に要する経費などを盛り込んだ平成29年度大分県一般会計補正予算案など、議案24件が提出され、広瀬知事が提案理由を説明しました。12日に行われた代表質問には3人の議員が、また、13日から15日に行われた一般質問には12人の議員が登場し、執行部と活発な議論を行いました。各常任委員会は、20日、21日に開催し、付託された議案等について慎重な審査を行いました。最終日には台風第18号災害からの復旧に要する経費が補正予算案として追加上程されました。

今定例会では、知事提出議案11件について可決・承認し、議員提出議案9件、委員会提出議案1件を可決、請願1件を採択、1件を取下許可、2件を継続審査とし、閉会しました。会期中には、延べ414人の方々、本会議や委員会を傍聴されました。

代表質問

9月12日(火)



自由民主党
志村 学 議員

- ▼地すべり・九州北部豪雨災害
- ▼県政運営
- ▼別府アルゲリッチ音楽祭・しいきアルゲリッチハウス
- ▼台湾との交流
- ▼北朝鮮ミサイルへの対処

災害対応

問 九州北部豪雨災害の対応をどう総括し、今後にご生かしていくのか伺う。

答 県では、発災直後、人命第一の救命救助、応急対応に力を注いだ。年度当初の訓練の成果もあって、県外からの自衛隊、警察、消防の皆さんを円滑に受け入れることができ、孤立地区の状況把握や生活支援、物資搬送、そして救急搬送等が迅速に行えた。復旧に当たっては、延べ約1万人のボランティアの方々に、被災家屋の片付けなどを手伝っていただき、大変助けられた。

一方、今回は農業施設や商工業施設の被害も大きく、援農隊や商工団体の方々に手伝っていただいたが、農家や商工業者のニーズとボランティアのマッチングがどうだったかということについても検証したい。また、日田市での防災

行政無線の障害など、避難情報等の伝達手段の確保も課題となった。こうした課題の解決を含め、今後とも、市町村や関係機関、県民の皆さんとともに災害への備えを着実に進める。



県民クラブ
原田 孝司 議員

- ▼憲法
- ▼九州北部豪雨災害
- ▼オスプレイの緊急着陸
- ▼国民健康保険の広域化
- ▼LGBT

LGBT

問 多様性が進行しつつある日本において、LGBTの方の認知・理解は深まりつつある。誰もが安心して暮らすことのできる社会の実現を目指している大分県として、どのように考えているのか伺う。

答 昨年実施した性的少数者に関する研修会のアンケートで、当事者の方から「苦しんで自殺未遂までした。全ての人が笑える世の中を」といったご意見をいただいている。

このような性的少数者を取り巻く状況については、県としても重要な人権課題と捉えている。平成27年に改定した「大分県人権尊重

施策基本方針」では、「偏見、差別意識の解消に向けて啓発に取り組むこと」、「学校で多様な性について理解を深める教育を進めること」、「相談支援体制を整備すること」などを掲げ、対策を進めている。また、県や市町村への提出書類に性別の記載が必要かどうかを見直すことなども行っている。

県民啓発では、今年度児童生徒を対象にした啓発漫画冊子の作成や数名の当事者からお話をいただくシンポジウムの開催を計画している。

性的少数者の人権問題はやっとな多くの人に認識されてきたところである。身近におられるかもしれない性的少数者への理解が深まるよう啓発をさらに進め、制度の整備に向けた社会的機運を醸成していく。



公明党
吉岡 美智子 議員

- ▼地域共生社会
- ▼バリアフリー化
- ▼ワーク・ライフ・バランス
- ▼広域道路ネットワーク
- ▼性犯罪被害者への支援

バリアフリー化

問 来年、本県で開催される全国障害者芸術・文化祭は、ハード、ソフト両面におけるバリアフ

リー化を更に加速し、多くの来県者にその取組を知っていただく絶好の機会であるが、考えを伺う。

答 来年秋に開催する全国障害者芸術・文化祭には全国から障がい者をはじめ多くの方々が来県されることから、大分らしいおもてなしで温かくお迎えしたいと考えている。

ハード面では、開幕・閉幕行事の会場周辺において、障がい者の移動に配慮した歩道整備を行うほか、EcoRico 総合文化センターの多目的トイレを増設し、音声案内装置や手すりを設置するなどの環境を整える。

ソフト面では、遠隔手話通訳サービスの実施も検討しており、10月の1年前イベントでも総合案内所に設置して活用したいと考える。

さらに、障がい者の皆さんにも県内各地の魅力を味わっていただくため、バリアフリー情報を盛り込んだ観光パンフレットを作成し、ウェブ上でも提供する。

大会運営全般にわたっては、市町村も参加する実行委員会に設置された「観光・おもてなし部会」において、障がい者ご本人等の現地調査も踏まえ、さらなるバリアフリー化について検討していく。

県民の皆さんと一緒に、多くの来県者が安心して大会を楽しめるよう、バリアフリー化の推進も含め、万全の準備を進めていく。

一般質問

9月13日(水)



自由民主党
末宗 秀雄 議員

▼県政運営における基本姿勢
▼県立高校改革
ほか



県民クラブ
藤田 正道 議員

▼株式上場後のJRR九州への対応
▼地産地消
ほか



自由民主党
衛藤 明和 議員

▼国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭
▼企業誘致
ほか



県民クラブ
小嶋 秀行 議員

▼水素エネルギー活用戦略
▼気象予報士の活用
ほか

9月14日(木)



おおいた維新の会
桑原 宏史 議員

▼マイナンバーカードのマイキー活用
▼医療情報ネットワークの構築
ほか



自由民主党
井上 明夫 議員

▼九州北部豪雨災害
▼犯罪被害者支援条例
ほか



県民クラブ
尾島 保彦 議員

▼小規模集落対策
▼米政策見直しへの対応
ほか



自由民主党
大友 栄一 議員

▼九州北部豪雨災害からの復旧・復興
▼重度心身障がい者医療費
ほか

9月15日(金)



自由民主党
吉富英二郎 議員

▼少子化対策
▼住宅宿泊事業(民泊)
ほか



県民クラブ
馬場 林 議員

▼働き方改革
▼就学援助制度の周知
ほか



自由民主党
土居 昌弘 議員

▼農業基盤の整備
▼自宅での看取り
ほか



公明党
戸高 賢史 議員

▼観光の復興対策
▼下肢末梢動脈疾患指導管理加算
ほか

国民文化祭及び
全国障害者芸術・文化祭

問 国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭により様々なレガシーを残していけると考えるが、見解を伺う。

答 今回の国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭には前回にはない二つの新しい取組がある。一つは文化事業に観光や地域振興を併せて人を呼び込む「カルチャーツーリズム」の創造であり、もう一つは国民文化祭と全国障害者芸術・文化祭の同時開催である。これを通じ、次の三つのレガシーを残したいと考える。

一つは、カルチャーツーリズムによる地域の活性化である。来県した方々には文化事業の鑑賞はもとより、地域の食や伝統文化を体験し、地域を周遊していただきたい。

二つは、芸術・文化の次代を担う人材の育成である。県内外の芸術団体の連携が深まり、分野を超えた交流が生まれ、大分に新たな芸術の風が起ることを期待したい。

三つは、障がい者への理解と社会参加の促進である。今回の大会では、全市町村で36の障がい者の芸術事業が予定されている。多くの皆さんに障がい者の芸術に触れ、その素晴らしさを体感していただきたい。

今回の文化祭を成功させ、今後、引き続きレガシーを残すべく、県民総参加で取り組んでいきたい。

犯罪被害者支援条例

問 犯罪被害者支援条例制定までのスケジュール、並びに条例制定に係る知事の基本的姿勢について伺う。

答 犯罪の被害に遭われた方が置かれた状況への理解を深め、その方々の気持ちに寄り添った支援を県民一体となって推進する必要があると考え、条例を制定することとした。

これまでに、条例の内容について、ご遺族や支援に携わる方等からご意見を伺い、素案を策定したところである。今後はパブリックコメントにより県民の皆さんからのご意見もいただきながら、本年第4回定例会での条例案の提出を目指す。犯罪被害者の支援に当たっては、次の二つが重要であると考ええる。

一つ目は、犯罪により受けた直接的な被害だけでなく、周囲の心ない言動などによる精神的苦痛や心身の不調といった二次的被害も念頭に置き、個々の状況に応じた適切な支援を、途切れることなく行うことである。

二つ目は、二次的被害が生じることのないよう、犯罪の被害に遭われた方々の置かれている状況について、県民の皆さんに正しく認識していただくことである。

以上の点を踏まえ、条例においては、まず、県の責務として、支援

施策を総合的に策定・実施し、被害に遭われた方々が再び平穏な生活を取り戻せるよう、被害者の心情に寄り添った支援を行っていく。

働き方改革

問 今後、働き方改革に関する意識啓発や働きかけ、さらに目標実現に向けた施策・支援としてどのようなことを考えているのか伺う。

県では、労使の代表や女性経営者等による「働き方改革推進会議」でとりまとめた「おおいた働き方改革共同宣言」を機に、働き方改革の取組への機運醸成をより一層図ると共に、四つの目標達成に向けた支援を行っていく。

答 働き方改革の推進には、労使双方の意識改革が重要であり、経営者と労働者が一体となった取組が求められる。そのため、企業に向けて、ワーク・ライフ・バランスを実現できる働きやすい職場づくりに積極的に取り組む、優れた成果が認められる企業を表彰し、取組内容を広く周知している。また、先進的に取り組んでいる経営者の講演やアドバイザーの派遣などきめ細やかな支援も行っている。

さらに具体的な目標達成に向けて、①「年間総実労働時間の削減」については、社会保険労務士の派遣による時間管理の徹底を図る。

- ②「年次有給休暇の取得率向上」については、企業における実践リーダーの養成などによりワーク・ライフ・バランスの意識向上を図る。③「男性の育児休業取得率向上」については、部下の育児・介護に理解のあるイクボスの輪を助け、男性の育児参加意識の向上を図る。④「女性の就業率向上」については、在宅ワークの普及・促進等により多様な柔軟な働き方を実現し、女性が働きやすい環境づくりを行う。

可決された議案（議員提出）

●意見書（9件）

- ▽北朝鮮の核実験に対し制裁の強化と国民の安全確保を求める意見書
- ▽鉄道軌道整備法の改正を求める意見書
- ▽私学助成制度の堅持及び拡充強化を求める意見書
- ▽道路整備に係る予算措置の確保及び拡充を求める意見書
- ▽土地改良事業関連予算の確保を求める意見書
- ▽白タク行為の容認を旨とした規制改革に反対する意見書
- ▽森林環境税（仮称）の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書

- ▽小中学校におけるプログラミン
グ必修化に対して支援を求める意見書
- ▽食品衛生管理の国際標準化を求める意見書

可決された議案（委員会提出）

●意見書（1件）

- ▽軽油引取税の課税免除措置に関する意見書

採択された請願（1件）

- ▽軽油引取税の課税免除措置に関する意見書の提出について

意見書は、議長名で衆参両院議長、内閣総理大臣及び担当大臣あて送付しました。

可決・承認等された議案等（知事提出）

●予算関係（3件）

- ▽平成29年度大分県一般会計補正予算（第4号） ほか

●条例関係（4件）

- ▽職員の育児休業等に関する条例の一部改正について ほか

●その他（3件）

- ▽県有地の売却について ほか

●報告（1件）

- ▽平成29年度大分県一般会計補正予算（第3号）について

新たに構成された委員会・委員会の活動状況

決算特別委員会（21人）

目的…平成28年度決算審査のため
期間…平成29年9月15日から12月31日まで

委員長…古手川 正治（自由民主党）
副委員長…土居 昌弘（自由民主党）

○委員会の開催状況

9月15日
・委員長、副委員長の互選ほか
10月3日・6日、10日
・決算審査（企業会計・病院会計・一般会計・特別会計）

10月27日
・決算審査報告検討

11月2日
・採決及び審査報告書の検討・まとめ

決算議案14件については、原案どおり可決及び認定すべきものと決定し、検討又は改善等を求める事項を取りまとめました。



特別委員会

今定例会において、調査・研究のための4つの特別委員会が設置されました。

文化・スポーツを活用した地域づくり特別委員会（10人）

目的 国民文化祭・おおいた2018、ラグビーワールドカップ2019の大分開催や2019女子ハンドボール世界選手権大会、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ誘致等を契機として、文化・スポーツを活用した地域振興策について調査・研究し、知事に対して政策提言を行うとともに、関係機関に対して要望を行う。

期間 平成29年9月15日から平成31年3月31日まで

委員長 濱田 洋（自由民主党）

副委員長 三浦 正臣（県民クラブ）



革新的技術活用特別委員会（10人）

目的 IoT、AI、ドローン等「第4次産業革命」の革新的技術を活用した地域課題の解決及び新ビジネスの創出のための施策について調査・研究し、知事に対して政策提言を行うとともに、関係機関に対して要望を行う。

期間 平成29年9月15日から平成31年3月31日まで

委員長 毛利 正徳（自由民主党）

副委員長 吉富 英三郎（自由民主党）

農山漁村生活環境維持・産業振興特別委員会（11人）

目的 過疎・高齢化が進む農山漁村において、地域住民が将来にわたり持続的に暮らしていくための総合施策及び担い手確保・人材育成等による農林水産業の振興施策について調査・研究し、知事に対して政策提言を行うとともに、関係機関に対して要望を行う。

期間 平成29年9月15日から平成31年3月31日まで

委員長 元吉 俊博（自由民主党）

副委員長 二ノ宮 健治（県民クラブ）



障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる県づくり特別委員会（10人）

目的 障がいのある人もない人も、相互に人格と個性を尊重しながら共生する県づくりに向け、障がい者が地域で心豊かに暮らせるための施策について調査・研究し、知事に対して政策提言を行うとともに、関係機関に対して要望を行う。

期間 平成29年9月15日から平成31年3月31日まで

委員長 守永 信幸（県民クラブ）

副委員長 衛藤 明和（自由民主党）

常任委員会

● 県外所管事務調査 ● 7月から9月にかけて、3つの常任委員会が県外所管事務調査を行いました。

総務企画委員会

7月18日から20日にかけて奈良県、大阪府、兵庫県で実施しました。

神戸市御崎公園球技場（兵庫県神戸市）では、ラグビーワールドカップ2019の準備状況について調査し、テロ対策等安全対策やインバウンド対策などについて市の関係者と意見交換を行いました。



福祉保健生活環境委員会

9月2日から4日にかけて奈良県で実施しました。

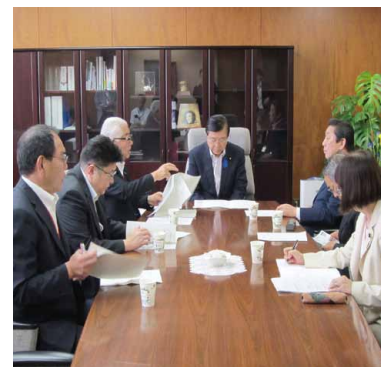
第32回国民文化祭・なら2017、第17回全国障害者芸術・文化祭なら大会総合フェスティバルオープニング「開会式」では、大規模イベント等における障がい者の参加促進のための合理的配慮の実施状況を調査しました。



農林水産委員会

7月18日から20日にかけて愛知県、東京都で実施しました。

農林水産省（東京都）では九州北部豪雨災害について、農林水産大臣に対して緊急要望を行うとともに、本県の農林水産業に係る諸課題について磯崎農林水産副大臣と意見交換を行いました。



トピックス

◎森林・林業・林産業活性化九州大会

10月26日、九州各県の森林・林業活性化促進議員連盟と林業関係者約1,100名が出席し、「森林・林業・林産業活性化九州大会」を開催しました。森林・林業・林産業の活性化と山村地域の振興を図ることを目的とし、「林業復活と地域創生」と題した基調講演、林野庁から7月の九州北部豪雨災害に関する報告、佐伯広域森林組合から循環林業の取組の発表が行われ、最後に国産材利用促進等の大会決議を採択しました。



◎議員出前講座

議員が講師となり、県内の小中高等学校や大学等に出向き、県議会の仕組みや役割、議会の最近の話題などをわかりやすく説明し、議会を身近に感じてもらおう議員出前講座を実施しています。



◎出前県議会「議員と語るういん西部地域」

10月17日、日田市に井上議長を始め11人の議員が出向き、出前県議会を開催しました。「県西部の地域活性化について」をテーマに、地元の方々の意見発表をしていただき、その後、活発な意見交換を行いました。



◎第1回県議会政策勉強会

県議会では政策立案機能の一層の向上等を図るため、新たに「県議会政策勉強会」をスタートしました。第1回目は、6月に大分県副知事に就任した農林水産省出身の安東隆副知事を講師にお招きし「農業・農政の現状と今後の方向」と題して9月8日に開催しました。

我が国の農林水産業を取り巻く情勢について詳細な説明の後、農林水産行政の今後の展開や農政改革の方向等についてご講話いただきました。



◎議会ロビーへの作品展示

9月7日～27日、「元気の出るアート！」で活躍する、県内在住の障がいのある作家の作成した絵画等の作品を展示しました。



※「元気の出るアート！」は、障がいのある人たちの自主的な創作活動を支援し、発表の機会を設けることで「生きる力」「自己実現」を図ること等を目的とした事業です。

県議会では、県内在住者が作成した作品を対象に、議会ロビー（県庁舎新館1階）で展示を行っています。詳しくは議会事務局総務課まで。



県議会今後の動き

平成29年第4回定例会の日程(予定)

11月27日(月)	開会
12月4日(月)	6日(水)
7日(木)	本会議(一般質問)
8日(金)	常任委員会
13日(水)	閉会

点字版・音読版
「県議会おおいた」
のご案内

本紙の点字版・音読版を作成しています。詳しくは議会事務局政策調査課まで。

県議会ホームページでは・・・

本会議の生中継、録画中継、会議録や議会の日程、質問項目、議会の仕組みと役割など、様々な情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

<http://www.pref.oita.jp/site/gikai/> 大分県議会

子ども向けサイト「おおいた県議会キッズ」もあります～

お問い合わせは 県議会事務局 各課まで	【総務課】 議会庶務、情報公開など 【議事課】 本会議、常任委員会、傍聴など 【政策調査課】 調査業務、特別委員会、議会広報など	TEL 097-506-5019 TEL 097-506-5022 TEL 097-506-5035
---------------------------	--	--